

# 子連だより

No. 125



## 次代を担う子どもたちの育成のために

一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会 顧問 武士俣 昭司

(一社)新潟県子ども会育成連合会も創立四十周年を過ぎ、新たな十年に向かってスタートしました。この四十年の間に子どもたちの社会環境はめまぐるしく変わりました。その対応に大人の私たちがついていけないのが現状でないでしょうか。

四十年前には、パソコンもスマホもなくアナログ社会でした。それが現在ではパソコン、スマホも一般に普及して、子どもたちは上手に使えなくなっています。それを駄目だと大人の視点で禁止しても無理な話です。

文明の発達の中で、生活は便利になって来ましたが、それは諸刃の剣です。正しく活用すれば善になり、それを悪用すれば悪になります。フェイスブック、ライン等、SNSは使い方によって大変便利なものですが、使い方を間違えれば、いじめなどの道具となります。その点を真摯に受け止めなければなりません。子ども会育成活動も社会の変化、現状を的確に捉えて、まず大人の育成者の資質向上を図らねばなりません。ただ、過去の経験だけを持って指導するだけでなく、時代の変化に対応した学びを深め、どう子どもたちに対処し育成指導していくかが大

事な課題です。

子ども会育成者は、子ども会の存在意義を正しく認識して、育成者自らも子どもたちと一緒に学んで行って欲しいと思います。

戦後七十余年、子どもたちの行動範囲、生活環境は外から内へ変わってきています。その理由として、モータリゼーションの影響で子どもの安全な遊びの場が失われて来ましたが、その一方でデジタル機器の発達で、パソコンなどゲーム機器で遊ぶ環境が増え、お金を出せば遊べるし、何でも出来てしまいます。いま、それでいいのかと問われています。

子どもの成長に大事な幼少期に異年齢集団活動を体験して、社会性を学ぶことの大切さ、人と人との繋がりが、絆の大切さ、協調と思いやりを育むことが大切です。その最も大事なのが子ども会活動だと私は思います。

文部科学白書では「子どもたちの未来を育む豊かな体験活動の充実」がうたわれています。そして、「社会で求められる仲間とのコミュニケーション能力や自立心、主体性、協調性、チャレンジ精神、責任感、創造力、

異なる他者と協働する能力等を育むためには、様々な体験活動が不可欠です。」(全子連会長挨拶より一部引用)まさしくこれが、私たち子ども会が実践してきた活動であり、将来にわたって子ども会活動の目指すものです。

KYT(危険予知トレーニング)が安全啓発と言っ言い方に変わったこともその一例です。一方的に教える方式でなく、子どもたちと一緒に安全とは、危険とはについて考える。主体的な対話を通して、深い学びをすることであり、意見の異なる仲間との協調性と責任感を養い身に着けることです。自然体験活動の中で危険と直面したとき、災害時の対処の仕方なども一人一人が判断できる能力も身に付けさせることも子ども会育成活動の一環です。

子どもたちに対する育成指導方法も今日的状況を鑑み、変えて行かなければなりません。それは、一方的に教えるのではなく、子どもたち一人一人の能力を引き出す「主体的、対話的で深い学び」となるような育成指導方法でなければならぬと思います。終わりに(一社)県子連の益々の発展に期待するところであります。



# 「へこたれない力」の育成と 子ども会活動への期待

独立行政法人国立青少年教育振興機構  
(兼) 国立妙高青少年自然の家  
理事 伊野 巨  
所長

## 一 はじめに

自然の家を訪れる子どもたちは、妙高の雪の深さに驚き、ブナの原生林の山に登頂して感動し、仲間との共同生活での語り合いに心をときめかせます。

便利な時代になった現代社会では、楽しい遊びや情報が、自ら苦労して求めなくても簡単に獲得できるようになってきました。その一方で、子どもたちの成長にとって必要な何かを置き忘れてきているように感じています。

そして、いじめ・不登校・ネット依存などの青少年の課題が社会問題にもなっています。これらはいろいろな原因が絡み合って現代社会の問題点として表面化している現象の一つだと思えます。子どもたちは、遊びや生活体験、子ども会活動のような地域でのさまざまな体験活動を通して、社会性や意欲、自己肯定感などを獲得していきます。

## 二、「へこたれない力」の育成

国立青少年教育振興機構では、青少年の人間形成においてどの時期にどのような体験をすることが重要になるのかを明らかにする調査研究に取り組んでいます。本研究は、我が国の青少年の自己肯定感が諸外国に比べ低いと指摘されていることを踏まえ、子どもの頃の体験と「自己肯定感」、今の青少年に求められる「へこたれない力」、「意欲」、「コミュニケーション力」との関係を検討し、これを高める体験活動の在り方を提案しました。

## 三、子ども会活動への期待

この調査結果のよって、「地域の人の

のかかわり」や、「友達のかかわり」で、「自己肯定感」や「へこたれない力」が育成されます。子ども会の組織は、育成者である地域の大人や先輩であるジュニアリーダーとのタテやナメの関係、仲間とのヨコの関係があります。子ども会は、ミニ社会であり、その中で、仲間と切磋琢磨したり、試行錯誤したりして、いろいろな人から褒めてもらい、社会性や自信を獲得していきます。

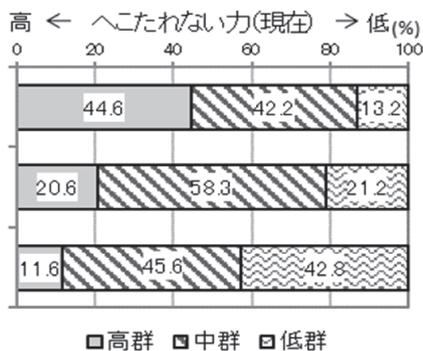
中でも、「困難な状況でもあきらめず頑張ろうとする力や物事を前向きにとらえようとする思考」を「へこたれない力」と定義し、家庭・学校・地域での体験と共に、子どもの頃の人間関係について調査しました。「子どもの頃に近所の人に褒められたこと」また「友達に褒められたこと」という体験が多い人ほど「へこたれない力」が高いという結果が、調査した全年齢層で出ています。

これからの社会を生き抜く子どもたちを育てるのに必要な体験は、自然体験や社会体験、歴史文化体験等の中で、いろいろな人とかかわることです。これらの体験活動をバランスよく実施しているのが子ども会です。育成者やジュニアリーダーの指導のもと、自分たちで楽しむ活動と共に、お世話になった地域の人のために地域を良くする活動、地域の人から喜んでもらえる活動などを展開することが期待されます。例えば、地域のお祭りに参画して、一人暮らしのお年寄りに招待状を出したり、地域の中で子ども会主催のあいさつ運

動や清掃活動を行ったりと、子どもたちの参画が、地域をも活性化してくれます。このような活動が、多くの人が認められ褒めてもらえるようになることを期待しております。

## 四、終わりに

子ども会活動で、仲間と共に、地域の中で体験活動を企画・実施し、多くの人とかかわるような体験は、子どもたちの豊かな人生の基盤になります。自然の家も子ども会の応援団として、子どもたちの健全育成のために努力してまいります。皆様のご利用をお待ちしております。



「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究」  
平成29年4月25日 国立青少年教育振興機構

上越地区

賽の神に参加して

上越市春日山町一丁目子ども会  
五年 松尾 歩夢



ぼくが住む上越市では、毎年小正月にさいの神が行われます。今年はいぬ年なので年男といふことでやぐらに点火をしました。点火前、山の雪道がとてせまく、上り下りが大変でしたが、がんばって火を運びました。今年は、雨や雪が降っていませんでしたが、予想していたより少し寒く、火の神様がいる秋葉神社には山の上の方なので雪がありました。やぐらに点火すると、火はかなりいきおいよく燃え上がりました。その様子を見て、今年火の災難が起こったり、病気にはならないなと思えました。また、そのいきおいよく燃えた火から、勉強や、今

習っている、剣道のやる気ももらいました。今年いろいろなことをがんばり、新しいことにチャレンジしようと思えました。ぼくはこのさいの神で、いろいろなことに気づかされました。昔上越に住んでいた人々の、火の災難や病気などが起きないようにしたいという願いからさいの神ができたということ。上越、春日山を守りPRする行事などの市の計画、朝からの準備や当日の連けいなど多くのことです。とくにすばらしいことが、昔から続く行事が無くなりたくないということです。これだけ長い間無くなりたくないことは、きつと町のみなさんがあきらめず協力して、がんばって今まで続けてきたということです。このような大切な行事は、ぜひこれからもずっと続けていき、大切にしていくなのが良いと思います。このさいの神は、毎年しっかりと行われています。だから、これからも市のみんなの力を合わせ、残していこうと思います。

中越地区

研修会に参加して  
心に残ったこと

東小千谷小学校  
六年 佐藤 心奏



私は今回の研修で心に残ったことがたくさんありました。その中で特に心に残ったことは、二つあります。一つ目は、キャンプでのことです。カレー作りでジャガイモの皮を包丁でむくのにあまり慣れていなくて、とても難しかったけど、みんなで作ったカレーはとてもおいしかったです。夜はテントに泊まりました。学校の話をしたりして、とても楽しかったです。二つ目は、キャンプの後の、研修でのことです。リーダーの中学生、高校生が「イエーイ」と自分から言い、盛り上げていて、楽しく参加できたことや、自分はどうだと思っ。など自分の意見をはっきり話していて、すごいなと思いました。

初めてのキャンプで初めての事がたくさんありました。初めて会った人と一緒にカレー作りをしました。たまねぎ、じゃがいも、人参の皮むき、ルーの量の確認、火加減など出来る事は全て自分たちでした。家の手伝いはリーダーでしていたけど包丁で初めて皮むきをしました。難しかったけど上手に出来ました。テントで夜を過ごしたのも初めてでした。このキャンプの前にジュニア研修会がありました。学校で活かしたいと思いました。最後の再会の会がありました。みんなで災害の時の事を考えました。キャンプのポスター作りもしました。私は参加した人の感想をのせることで参加する人がふえるのでは？と考えました。今回のリーダー研修でたくさん思い出ができました。私は中学生になりたいます。リーダー研修で学んだことを活かして過ごしていきたいです。

下越地区

楽しかった吉田祭り

吉田町東町子ども会

六年 金子 苺樺



七月二十一日に吉田祭りがありました。吉田祭りで心に残っていることは、二つあります。

一つ目は、午前町内を回りながらおはやしをしたことです。おはやし以外にも、繁盛節という踊りをしました。おはやしでは、大だいこをしました。大だいこはセンターで一番目立ちます。すごく大きな音が出るのでまぢがえないようにがんばって練習しました。大だいこの人は、もう一人いて交代しながらやり

ました。みんなで息の合ったおはやしのできたので楽しかったです。繁盛節の踊りをしている時に、法被がずれることがけっこうありました。それほどはりきって踊りました。夏ですごく暑い中でやったので、汗をかきました。水分補給も忘れずにかかさずしました。途中でアイスが出てくる時には、三つも食べました。とてもおいしかったです。

一つ目は、夕方に行った吉田祭りです。夜まで続きました。吉田祭りでは、吉田にある町内の子どもがいっぱい出ました。東町は、「流石会」として出ました。みんなおそろいの黒い服の後に流石会の字が書いてある服を着ました。繁盛節を踊る時、白い旗を使ってやりました。まぢがえることなく出来て良かったです。そして、しん査が終わって優勝したところを発表する時にどきどきしました。まず準優勝を発表したときは、流石会は、呼ばれなかつたです。優勝発表で、「流石会」が呼ばれました。一番最初は、何を言ったのか分からなくて静かにしていたら、流石会呼ばれたよと言われてからみんなで喜びました。かねをならしたり、たいこをたたいたりして喜びました。楽しかったです。

佐渡地区

吉岡子ども会

お楽しみ会

佐渡市吉岡子ども会

六年 小倉 一那子

私たち吉岡ひまわり子ども会は夏休み最後の日に、お楽しみ会をしました。

まず、潮津の里に集まり、竹で



「右ー」や、「左ー」と声をかけてもらったのに、なかなかうまくわれませんでした。みんなで順番に挑戦して、すごく盛り上がりました。スイカを外で食べました。すごくおいしかったです。そして最後に、作った水でっぼうでゲームをしました。何チームに分かれて、水でっぼうバトルをしました。ペットボトルを水でっぼうでたおしたり、背中にはった紙をねらったりして、ポイントが高かったです。私のチームは優勝できたかったです。

水でっぼうが完成すると次は、スイカ割り大会をしました。目かくしをして、棒を持ち、ぐるぐるまわってスイカを目指しました。みんなから



おみやげに、花火やおやつをもらいました。とてもうれしかったです。小学校生活で最後の夏休みに、吉岡のみんなと仲良く、楽しく、いろいろな事を体験できて良かったです。

## 地区別「子ども交歓大会」のようす

### <下越地区>

- 期 日：平成29年7月24日(月)～26日(水)
- 会 場：新潟市大畑少年センター
- 参加者：子ども6人 大人5人 計11名
- 活動内容
  - KYT、ディスカッション、創作活動、ナイトウォーク、食事作りなど

#### • 感想

初めは緊張をしていた子どもたちも時間が経つにつれ、緊張もほぐれ積極的にコミュニケーションをはかり、活動をしていました。参加者は少なめでしたが、充実した3日間だったと思います。今回ここで学んだことを少しでも日常生活や学校生活で生かしてくれればと思います。



### <上越地区>

- 期 日：平成30年2月4日(日)
- 会 場：上越市 市民プラザ
- 参加者：子ども550名 来場者約100名  
リーダー15名 指導者・育成者26名
- 活動内容
  - プラ板でキーホルダー作り ○ バルーンアート
  - マイ箸作り ○ ネイチャークラフト
  - オリジナルトートバッグ作り ○ エコ工作
  - 積木遊び ○ わたあめ ○ ポップコーン
  - ガラボン ○ 作ってあそぼう

#### • 感想

今年も交歓大会が盛大に行われました。昨年までと違い、対象を幼児から小学校6年生までにしたため、朝から大賑わいの交歓大会となりました。前日まで、参加者が集まるかスタッフ一同、不安がありましたが、当日開始の10時前から、行列ができ、参加者が始まるのを楽しそうに待つ姿を見て、一安心し、喜ばしい限りでした。交歓大会が始まり、各ブースから参加者やスタッフの賑やかな笑い声が広がりました。



### <佐渡地区>

- 期 日：平成29年12月2日(土)
- 会 場：佐渡市総合体育館
- 参加者：小学生179人 大人180人 計389名
- 活動内容
  - おおなわとび大会
  - 連続サークルジャンプ・一斉ジャンプの2種類を行いました。

#### • 感想

13チーム、179名の児童が参加しました。今まで練習してきた成果を出すため、各チームが一致団結。絆と友情が深まる熱戦が繰り広げられました。また、最後に駄菓子をつかみ取りを行い、大変盛り上がった一日となりました。



### <中越地区>

- 期 日：平成29年7月16日(日)
- 会 場：柏崎文化会館アルフォーレ
- 参加団体：長岡市子連・加茂市子連  
三条市子連・柏崎市子連
- 参加者数：100人
- 活動内容
  - 長岡市—キラキラシャボン玉
  - 加茂市—バルーンアート
  - 三条市—折り紙、竹とんぼ
  - 柏崎市—バラエティ風車

#### • 感想

中越沖地震の復興の催しの一部として遊び広場の開催でした。他の団体の催しもあり、参加者が少なかったが、参加した子どもたちは十分にもの作りを楽しんでくれました。



**期 日 平成29年10月21日(土)～22日(日) 1泊2日**  
**会 場 小千谷市民の家「おちゃーる」**

<1日目>

受 付	0:30～ 12:00 開会式 オリエンテー ション・レクリ エーション	昼 食	13:00～ 14:20 講義 子ども会活動 の進め方	休 憩	14:30～ 15:45 講義 ジュニア・リー ダーの役割	16:00～ 20:00 野外活動 (夕食づくり・ 夕食後片付け) (俳句・星空観察)	20:15 ～ 入浴 自由	22:00 ～ 就寝
--------	---	--------	---	--------	---	--	------------------------	------------------

<2日目>

6:30 起 床	7:00～ 9:00 (朝食づくり) (朝食) (後片付け)	9:00～ 12:00 安全啓発 消防署員による 「救急法の実技」	休 憩	13:00～ 14:20 創作活動 「パステルアート」	14:30 閉会式
----------------	--	---	--------	--------------------------------------	--------------

この研修では、まず、みんなのコミュニケーション能力の高さに驚きました。中学生が多かった中で、みんながはきはきとしゃべり、自ら発言している姿がとても印象に残り、私

私は今回、約二年ぶりにこの研修会に参加しました。とても久しぶりだったということもあり、少し緊張していましたが、きれいな施設と他地域の楽しいリーダーさんたち、面白い講師の方々のおかげで、とても充実した二日間を過ごさせてくださいました。

参加して  
中級研修会に  
長岡ジュニア・リーダークラブ  
荒川 咲希  
高校一年

僕が今回の研修で学んだことは二つあります。一つ目は子ども会事業の進め方とプログラムについてです。参加する子

中級研修会に参加して  
長岡ジュニア・リーダークラブ  
山田 晃  
中学二年

もがんばらねばと感じました。特に、夜の自由時間では、一発芸や特技を見せてくれて、とても楽しい時間をすごせました。また、講義では、ジュニア・リーダーの役割や心構え、理想のジュニア・リーダー像をみんなで話し合いました。自分は、理想像からは、まだまだ遠く、これからも多くの経験を積んで成長していきたいと感じました。



今回の研修では、自分から発言したり、相手の意見を聞くことが多くあり、みんなでジュニアリーダーとしての行動について話し合ったりしました。話をまとめる難しさや、発表することの難しさを感じることができました。

中級研修で学んだこと  
柏崎ジュニア・リーダークラブ  
吉田 麦  
中学三年

今回の研修をふり返って、本当にいろいろなことを学び、良い経験になりました。また研修会に参加してもっとたくさん経験をしたいと思います。

子どもたちの興味、関心を大切にしつつ教育的に必要なものを取り入れることで有意義な会にすることができるということに気がかりました。

一つ目はジュニアリーダーの役割についてです。ジュニアリーダーには、夢、目的、行動力、評価、組織などが大切であり、子どもたちとのコミュニケーションを取りつつグループを育てることが大切であるということ、そして人をまとめることのむずかしさもわかりました。

**県子連第二回Jし中級研修会**

他にも、ジュニアリーダーの役割についてや、子ども会の進め方、レクリエーションの進め方で何をどのようにするかなどを考えて、自分から行動できるようになりました。

この研修を通して、話し合いをまとめる難しき、積極的に活動する大切さ、ジュニアリーダーとして当たりまえのことですが、また改めて学ぶことができました。

僕はこの研修に参加したことを活かして、活動を良くするにはどうするべきかを考えていきたいと思います。

### 研修会で学んだこと

柏崎ジュニア・リーダークラブ

中学三年 梅田 蓮

初めての中級研修に参加し、最初は緊張しましたが、多くの学びと仲間に出会えたことが自分自身にとって、よい経験となりました。まず、グループでの話し合いでは、周りの考えを聞くことや自分の意見をわかりやすく発表することの大切さを感じました。高校生が中心となつてまとめて、話しやすい雰囲気を作ってくれました。いつか自分もそんな存在に



なりたいたいと思いました。講義や体験などの中で印象に残ったのは、救急法です。学校でも体験したことがありましたが、改めてあの場で体験することで、救急法の正しい知識を身につけることができました。もし人がたおれていても、助けるという勇気を持ち、落ちついて行動することが大事だと思いました。

また、夜は参加したみんなと語る時間を作ってもらい、学校のことや興味をもっていることなど遅くまで話していました。今回の研修で教えていただいたことを活かし、ジュニアリーダー活動をこれからも頑張つて続けていきたいと思います。それからも人の関わりを大切に過ごしていきたいと思います。

今回の研修で教えていただいたことを活かし、ジュニアリーダー活動をこれからも頑張つて続けていきたいと思います。それからも人の関わりを大切に過ごしていきたいと思います。



接してくれてうれしかったです。たくさんの実習や講座がありました。その中でも印象深かったのは、どんなリーダーが望ましいか、という話し合いです。頸城は、他の地域と比べ少し活動が少ないです。なので、小学生などのリーダーとなり企画をすることは、そう多くありません。しかし、日々の生活など、さまざまな場面で日常的にリーダー性は求められているんだ、と思いました。そしていつでもみんなのリーダーである、ということでは難しいことであることも分かりました。ちゃんとしたリーダーが一人いれば、組織はまとまるのだと思いました。

今回の中級研修会を通して、私は普段関わらない、ちがう地域のジュニア・リーダーの人たちと交流することができました。他のジュニア・リーダーの人たちから得た情報と、今回で学んだ経験を、頸城でも活かしていきたいと思います。

### 中級研修に参加して

頸城ジュニア・リーダークラブ

中学三年 西澤 綾

私は、今回はじめて中級研修会に参加しました。私と同年年の女子がいないことや、知り合いがほほえないことでも不安でした。しかし、いざ研修に行くとはじめて会った人たちがみんな優しく



中級研修ではジュニア・リーダーとして学んだことがたくさんありました。例えばジュニア・リーダーの役割では、ジュニア・リーダーの必要性について話し合い、子ども会の進め方ではジュニア・リーダーについて子ども会を仕切る、会事業のプログラム的重要性などについて考えました。レクリエーションではレクリエーションの進め方、何をす

るか、何ができるかなどについての講座を聞きました。

他に、救急蘇生法の講座を受け、目の前で、人が倒れてしまったときにどう対応したら良いかなどについて改めて学びました。人工呼吸や胸骨圧迫のコツなどについて学びました。

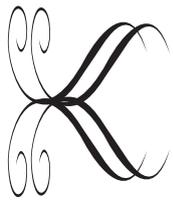
研修会に参加したことで、いろいろなことを学び、良い経験になりました。今回の研修をかり返って今度の活動を良くするためにはどうすればよいかを考え、この貴重な体験を体験で終わらせることのないようジュニア・リーダーとしての活動にしっかり活かしていきたいです。

### 中級研修で学んだこと

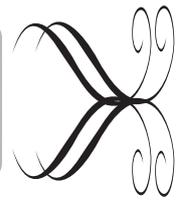
頸城ジュニア・リーダークラブ

中学二年 森田 晴斗

僕は中級研修に参加して良かったと思いました。



**平成30年度  
第43回 一般社団法人 新潟県子ども会  
育成連合会総会案内**



**I 総会について**

期 日 平成30年5月20日(日)  
 時 間 13時30分～16時00分  
 会 場 長岡市栃尾産業交流センター(おりなす)  
 TEL 0258-51-1331

**II 遊びのひろば**

主 催 一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会  
 共 催 長岡市子ども会連絡協議会  
 日 程 受 付 12時30分～13時30分  
 遊びの広場 12時30分～15時30分

**<開会式次第>**

- 1 開会のあいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 表 彰 県子連表彰
  - (1) 指導者・育成者
  - (2) ジュニア・リーダー
  - (3) 子ども会
- 4 祝 辞 県生涯学習推進課長  
長岡市長
- 5 来賓紹介
- 6 謝 辞 表彰者の代表
- 7 閉会のあいさつ  
=休憩=

**H29年度総会 開会式(表彰式)**



**<総会次第>**

- 1 開会のあいさつ
- 2 議長選出
- 3 議長あいさつ
- 4 議 事
  - (1) 平成29年度会務並びに事業報告について
  - (2) 平成29年度会計決算報告及び監査報告について
  - (3) 平成30年度事業計画(案)について
  - (4) 平成30年度予算(案)について
  - (5) 平成30年度県子連理事選出等について
  - (6) その他
- 5 議長退任
- 6 次期開催地子連会長あいさつ
- 7 閉会のあいさつ

**平成29年度<遊びのひろばのスナップ>**



上越市(市民プラザ)



糸魚川市  
(ふれあいセンター  
ビーチホールまがたま)

平成30年度 新潟県少年自然の家  
イベント一覧

新潟県少年自然の家  
〒959-2602 胎内市乙字大日裏  
TEL 0254 (46) 2224  
FAX 0254 (46) 3070  
<http://www.pref.niigata.lg.jp/shizen/>



イベント名	期 日	内 容	会 場	募 集 人 員	
自然・ふれあい! 家族のつどい	1	8/25・26 (土・日) 1泊2日	カヌー・釣り 野外炊さん	新潟県少年自然の家等	各回とも 小・中学生含む 家族25組程度 (70名程度)
	2	12/1・2 (土・日) 1泊2日	クリスマス料理作り 自然素材クラフト		
	3	2/2 (土) 日帰り	どんど焼き 工作教室		
チャレンジわんぱく	1	7/28・29 (土・日) 1泊2日	カヌー、野外活動 テント泊	新潟県少年自然の家等	小学4～6年生 70名程度 原則3回連続参加
	2	9/29・30 (土・日) 1泊2日	登山 野外炊さん		
	3	1/26・27 (土・日) 1泊2日	スキー、もちつき どんど焼き		
自然の家で防災キャンプ	9/22・23 (土・日) 1泊2日	非常食、屋内外テント泊 等の避難所体験		原則家族参加 で30名程度	
家族でカヌーに親しもう!	8/10 (金) 午前・午後 8/11 (土) 午前・午後	カヌー体験 (小4以上)	胎内川	各回 (4回) 家族 参加で30名程度	

平成30年度  
新潟県立こども自然王国 イベント一覧



新潟県立こども自然王国  
〒945-1505  
新潟県柏崎市高柳町高尾30-33  
TEL : 0257-41-3355  
FAX : 0257-41-3515  
<http://www.garuru-kururu.jp>

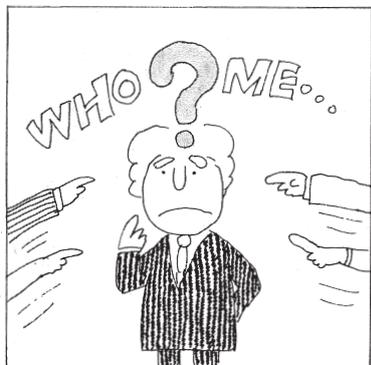


新潟県立こども自然王国は、遊ぶ・学ぶ・泊まるがひとつになった柏崎市高柳町にある宿泊型 (B型) の大型児童館です。

期 日	イベント名	内 容	対象・定員
通 年	王国ジュニアリーダー活動	高柳の自然に触れた活動や、やりたいことを企画して挑戦! 活動を通して仲間との絆を深めよう!	対象: 小学6年・ 中高生
4月30日	春の恵みでピザ作り	山菜を採りに行ってピザを作ろう! 昼食は作ったピザを食べます。	3歳以上 定員: 20名
5月3日 ～6日	ゴールデンウィークあそびフェスタ	期間中は楽しいイベントが盛りだくさん! 春の王国でおもいきり遊ぼう!	
5月26日	田植えどろんこ体験	王国田でどろんこになって田植え体験 昼食&王国温泉入浴付き	3歳以上 定員: 30名
6月17日	王国アドベンチャー	王国の森でおもいきり遊ぼう! 昼食&王国温泉入浴付き	5歳以上 定員: 20名
8月25日	水あそび体験	川でおもいきり水あそび! 王国温泉入浴付き	小学生以上 定員: 20名
9月2日	親子トンボとり大会	親子で力を合わせてトンボなどの昆虫を捕まえよう! 制限時間内でどれだけ捕まえられるかな?	3歳～小学生と大人 のペア: 20組
9月15日	カヌーまつり	鯖石川ダム湖をカヌーに乗って探検! 王国温泉入浴付き	小学4年生以上 定員: 25名
9月24日	稲刈り体験	王国田に黄金色に輝く稲を手で刈りとる収穫体験! 昼食&王国温泉入浴付き	3歳以上 定員: 30名
10月8日	秋の児童館まつり	県内の児童館・児童クラブ・大学のみなさんによるあそびの屋台や、王国の美味しい屋台が大集合!	

# 楽しいゲーム その14

## 私はだれでしょう



オニになった人を、“だれか”にして、順じゅんにヒントを与えて当てさせるゲームです。

### 〈遊び方〉

- ① みんなで、ジャンケン、くじ引きなどの方法でオニになる人をきめます。
- ② オニになった人をその場から追いだします。
- ③ 残った人たちは、問題の人“だれか”をきめます。“だれか”には、みんながよく知っている人物がいいでしょう。たとえば、おとぎ話の登場人物、話題の人、人気タレントなどがいいでしょう。
- ④ “だれか”がきまったら、オニにヒントを与える順番をきめてから、オニを呼びにいきます。
- ⑤ オニは与えられたヒントから、自分が“だれなのか”当てるのですが、質問は決して許されません。答えは、一度だけまちがえていいのですが、二度目もまちがえたら、ペナルティーとしてもう一度オニになってもらいます。また、ヒントの数も20回を限度にして、当たらない場合はもう一度オニになってもらいましょう。

### 〈ヒントのコツ〉

ヒントの与えかたによっては、なかなか当たりませんから、なるべくオニがまごつくようなヒントを考えると、ゲームがますますたのしくなります。

# 創作活動 作って遊ぼう その22

## ふわふわ人形をつくる

「おきあがりこぼし」というのが、むかしからある。あれをまねて、重りで動くおもちゃをつくろう。

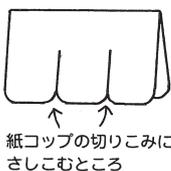
### 用意するもの

- 紙コップ…4個 竹ひご
- 油ねん土 おり紙 ハサミ
- 目うち セロテープ 画用紙

① 紙コップに図のようにハサミで切りこみを入れる。

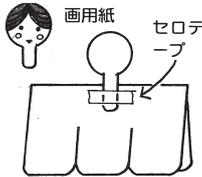


② おり紙を半分おいて、図のような形に切る。



紙コップの切りこみにさしこむところ

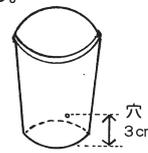
③ 画用紙で顔をづくり、セロテープでとめる。



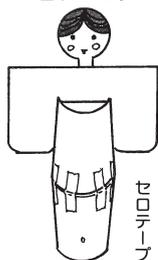
④ どうたいを紙コップにさしこむ。



⑤ もうひとつの紙コップに、目うちで竹ひごをとおす穴をあける。



⑥ セロテープではり合わせる。



⑦ 竹ひごとおし、まっすぐ立つように下のコップの底にねん土をつける。



⑧ できあがり。



人形がまっすぐ立ったら、たおしてみよう。おきあがってくるかな。風があると左右にユラユラゆれるよね!!



# 子どもの安全 仲間をつなぐ子ども会

(一社)新潟県子ども会育成連合会は  
子どもの「安全・安心確保」をバックアップします!

仲間づくり安心フローチャート  
子ども会

市町村子ども会連合会に入ろう

「子ども会」への  
期待・願い

## 居場所づくり

子ども

\*年間約 150 日の学校休業日を有意義に過ごす場の提供

## 仲間づくり

子ども&育成者(大人)

\*より大きな異年齢集団での活動を通じた仲間づくり  
\*育成者間での交流による人的  
<ネットワークづくり>

## 安心・安全の確保

子ども&育成者(大人)

\*安全共済会への加入による、安心・安全の確保

全国子ども会連合会の理念

「子どもは地域で育つ」を基本理念に、地域社会を基盤にした子育て世代の親・親集団を積極的に支援し、子どもの健全な成長を促し・見守り、よりよい地域社会の実現を目指しています。

### 子ども会に入って 広がる仲間の輪

町内子ども会

町内子ども会

町内子ども会

市町村子ども会連合会  
(市町村子連)

(一社)新潟県子ども会育成連合会 (県子連)

市町村で取りまとめて  
くださる事務局がない  
場合は、直接、県子連事  
務局にお問合せ下さい。

住所：新潟市中央区白山浦1丁目300番地  
電話：025-230-5298 Fax：025-230-5292  
E-mail：n-kodomo@sage.ocn.ne.jp



# 平成29年度 市区町村別加入状況一覧表

(H30. 1. 31現在)

## 上越地区⑫ 2市

市町村名	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
1 上越市	87	4,596	514		5,197	1,945	1,945	7,142	147
2 (安塚)	2	44	18	0	64	22	22	86	3
3 (大島)	6	33	18	1	58	60	60	118	9
4 (大瀧)	12	291	33	0	336	130	130	466	4
5 (板倉)	37	236	37	8	318	267	267	585	11
6 (吉川)	10	50	2	0	62	56	56	118	3
7 (柿崎)	4	127	34	3	168	91	91	259	4
8 (三和)	3	54			57	59	59	116	5
9 (頸城)	6	336	52		394	281	281	675	11
10 (名立)		85	38		123	83	83	206	9
11 (清里)	15	136			151	103	103	254	14
12 妙高市		166	35	8	209	138	138	347	11
地区合計	182	6,154	781	20	7,137	3,235	3,235	10,372	231

## 下越地区⑧ 5市 1村

市町村名	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
1 新潟市	289	7,069	188	6	7,552	2,651	2,651	10,203	264
2 新発田市	44	1,518	101	5	1,668	461	461	2,129	40
3 阿賀野市	40	305	5		350	212	212	562	17
4 胎内市	77	874	6		957	613	613	1,570	49
5 弥彦村	20	443	11		474	233	233	707	18
6 燕市(吉田)	17	638	1	0	656	333	333	989	21
7 (分水)	50	140	0	0	190	210	210	400	4
地区合計	537	10,987	312	11	11,847	4,713	4,713	16,560	413

## 佐渡地区⑧ 1市

市町村名	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
1 佐渡市	164	1,704	405	112	2,385	779	779	3,164	131
両津	13	404	28	2	447	177	177	624	41
佐和田		75			75	16	16	91	2
金井		320	123		443	94	94	537	13
新穂		162	80	3	245	54	54	299	15
羽茂		63	8		71	18	18	89	4
赤泊	9	70	18	13	110	60	60	170	10
相川	47	141	49	55	292	79	79	371	12
真野	31	227	44	10	312	136	136	448	15
畑野	13	173	25		211	53	53	264	6
小木	51	69	30	29	179	92	92	271	13
地区合計	164	1,704	405	112	2,385	779	779	3,164	131

## 中越地区⑫ 8市

市町村名	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
1 長岡市	667	9,575	195	19	10,446	7,003	7,003	17,449	384
2 (中之島)	6	495	11		512	197	197	709	28
3 (小国)	18	105	48		171	135	135	306	11
4 柏崎市	79	3,333	87	11	3,510	1,524	1,524	5,034	134
5 見附市	200	1,794	45	1	2,040	2,017	2,017	4,057	102
6 加茂市	140	547	246	45	978	1,255	1,255	2,233	27
7 十日町市	54	577	30		661	418	418	1,079	41
8 三条市	6	177	32	8	223	125	125	348	7
9 南魚沼市	66	610	62	6	744	570	570	1,314	30
10 魚沼市(小出)	4	143	0	0	147	38	38	185	4
11 (湯之谷)					0		0	0	
地区合計	1,230	17,356	756	90	19,432	13,282	13,282	32,714	768

1 県子連		10			10	31	31	41	1
-------	--	----	--	--	----	----	----	----	---

	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
総合計	2,113	36,211	2,254	233	40,811	22,040	22,040	62,851	1,544

### ◆ 当面の予定 ◆

- ・ 5月20日(日) 県子連総会・遊びのひろば  
(長岡市栃尾産業交流センター：おりなす)
- ・ 5月30日(水) 全子連定例総会(オリセン)
- ・ 6月3日(日) 県子連第1回理事会  
(新潟市芸術創造村・国際青少年センター)
- ・ 6月8日(金) 県子連だより第126号発行
- ・ 6月17日~18日 関プロ子ども会総会  
(栃木県那須)
- ・ 6月31日(土)~7月1日(日) 第1回JL中級研修会  
(国立妙高青少年自然の家)
- ・ 7月8日(日) 安全啓発初級指導者養成講習会  
(柏崎市民プラザ)

一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会 E-Mail n-kodomo@sage.ocn.ne.jp

編集発行 一般社団法人  
新潟県子ども会育成連合会

〒九五一一八三三  
新潟市中央区白山浦一三〇〇  
電話 〇二五二三〇一五五九八  
FAX 〇二五二三〇一五五九二

○平成三十二年の関プロ新潟大会が近づいてまいりました。日程や会場も決まりました。万全の準備で実りある関プロ研究大会にしましょう。

○子ども会のあり方を考えたとき、「子どもの声を聞く」そして、指導者が子ども会のあり方についての考え(認識)を共有して、前に進むことが大切と思われまます。

○原稿を執筆していただきました皆様に御礼申し上げます。(文責・板垣)

